



棟梁：奥村千里 外構植栽：古池康彰 外構芝：千々和駿 デザイン・広報：畑佐向日葵
林業～製材：坂巻陽平・森光照 製材～建築：高木始

Concept

木に関わる人々の技術や想いを紡いでいける 「紡ぎ手となる空間」

使用する人にとって

①安全で快適な空間

練習を頑張りたいと思えて
技術や想いを継承していく空間に

外部の人へ

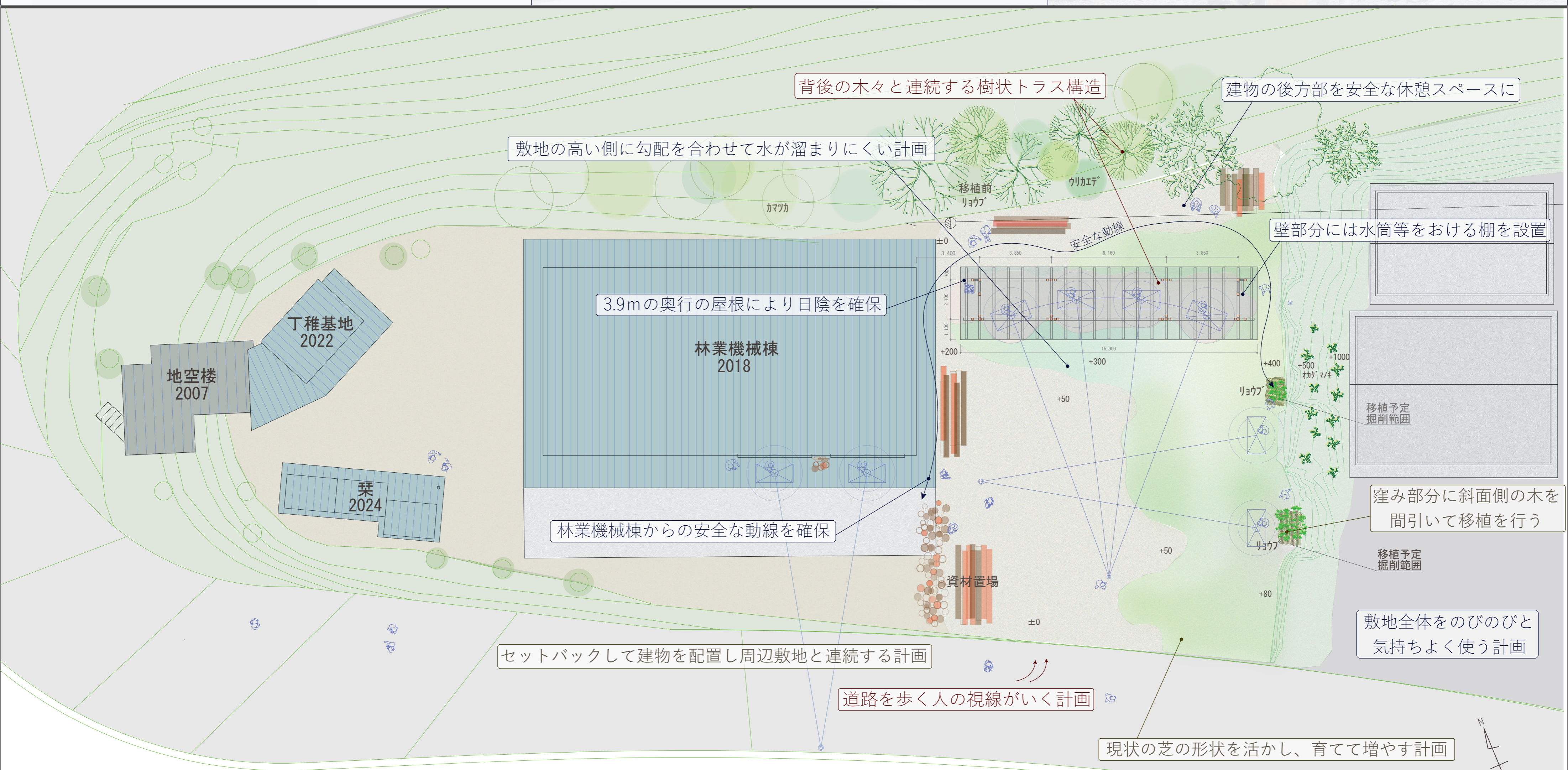
②魅力を発信できる空間

チェーンソー作業のカッコよさや魅力を
伝えていくきっかけとなる空間に

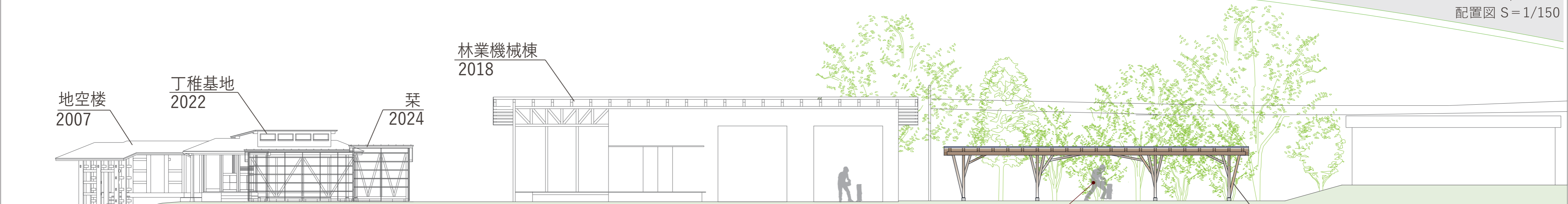
アカデミー生にとって

③誇りの持てる空間

林業の学生が伐ってくれた木で建築ができて
皆で関わってつくったという愛着のある空間に



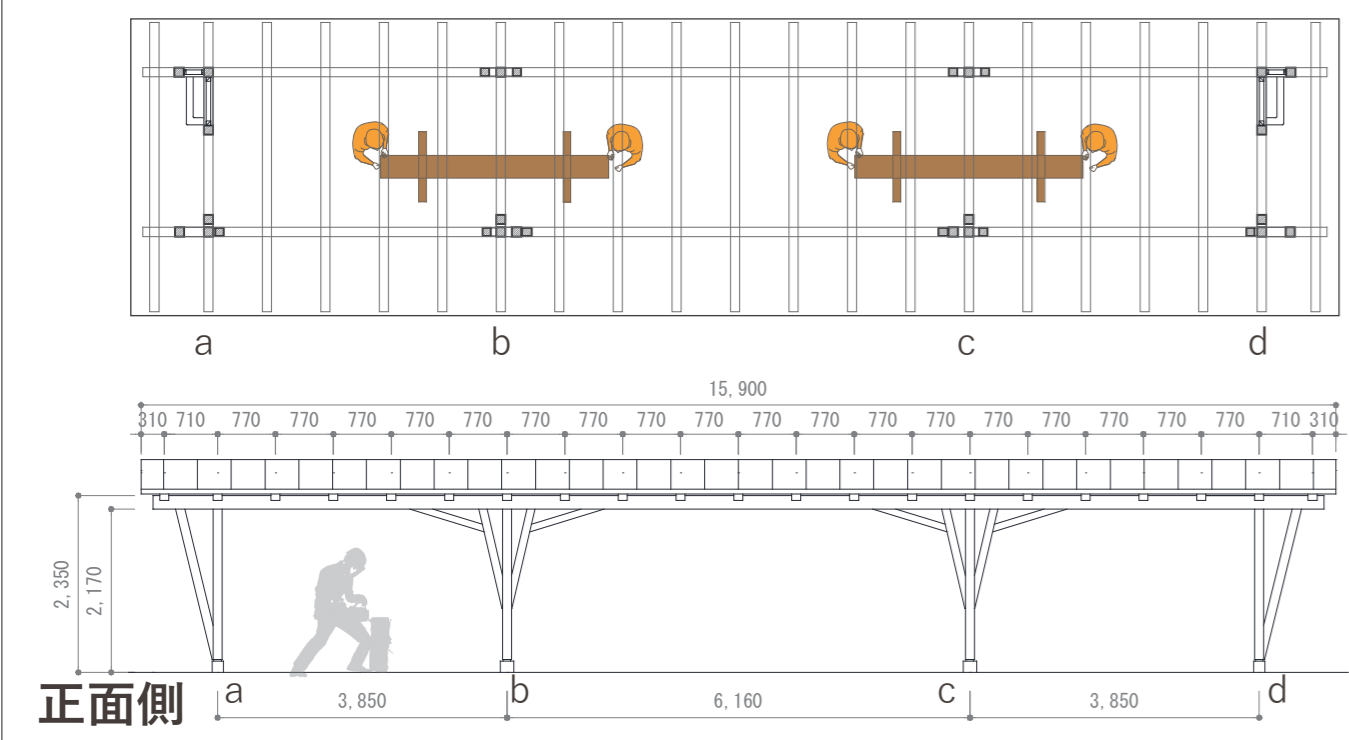
配置図 S=1/150



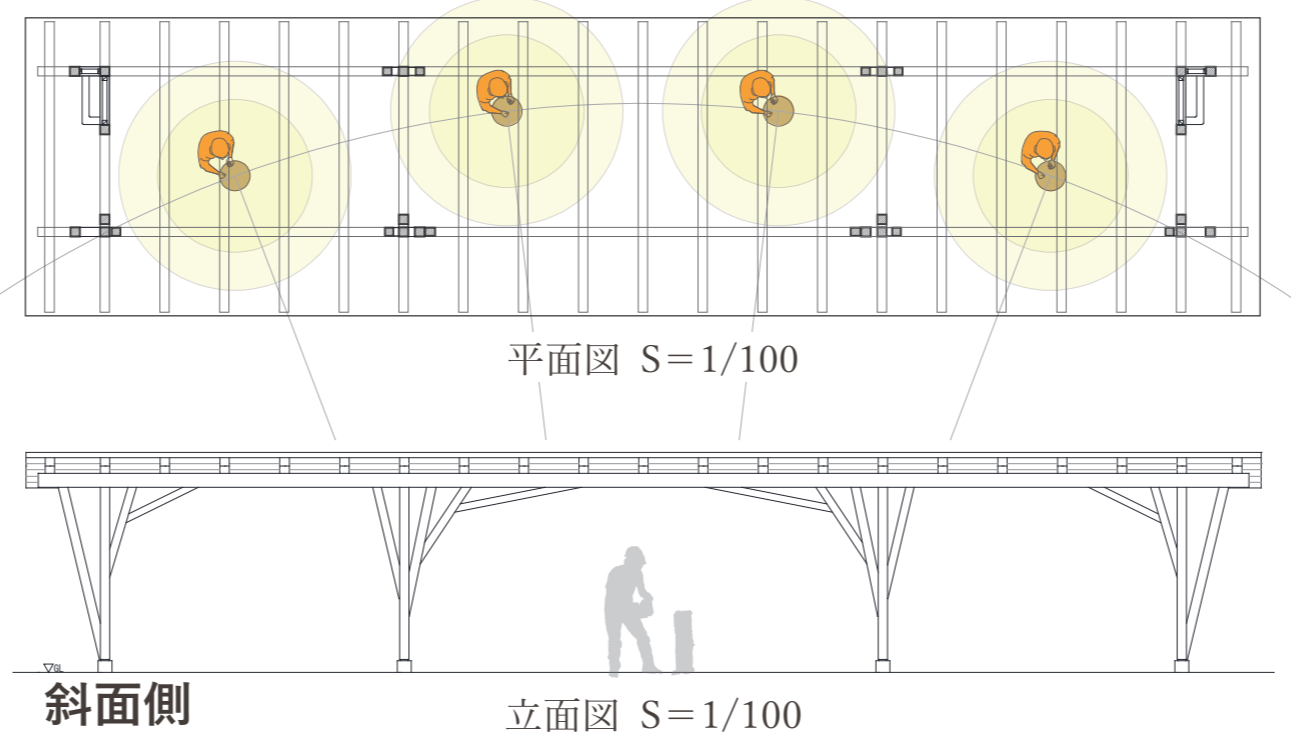
立面図 S=1/150

●多様な練習方法に対応する平面と立面計画

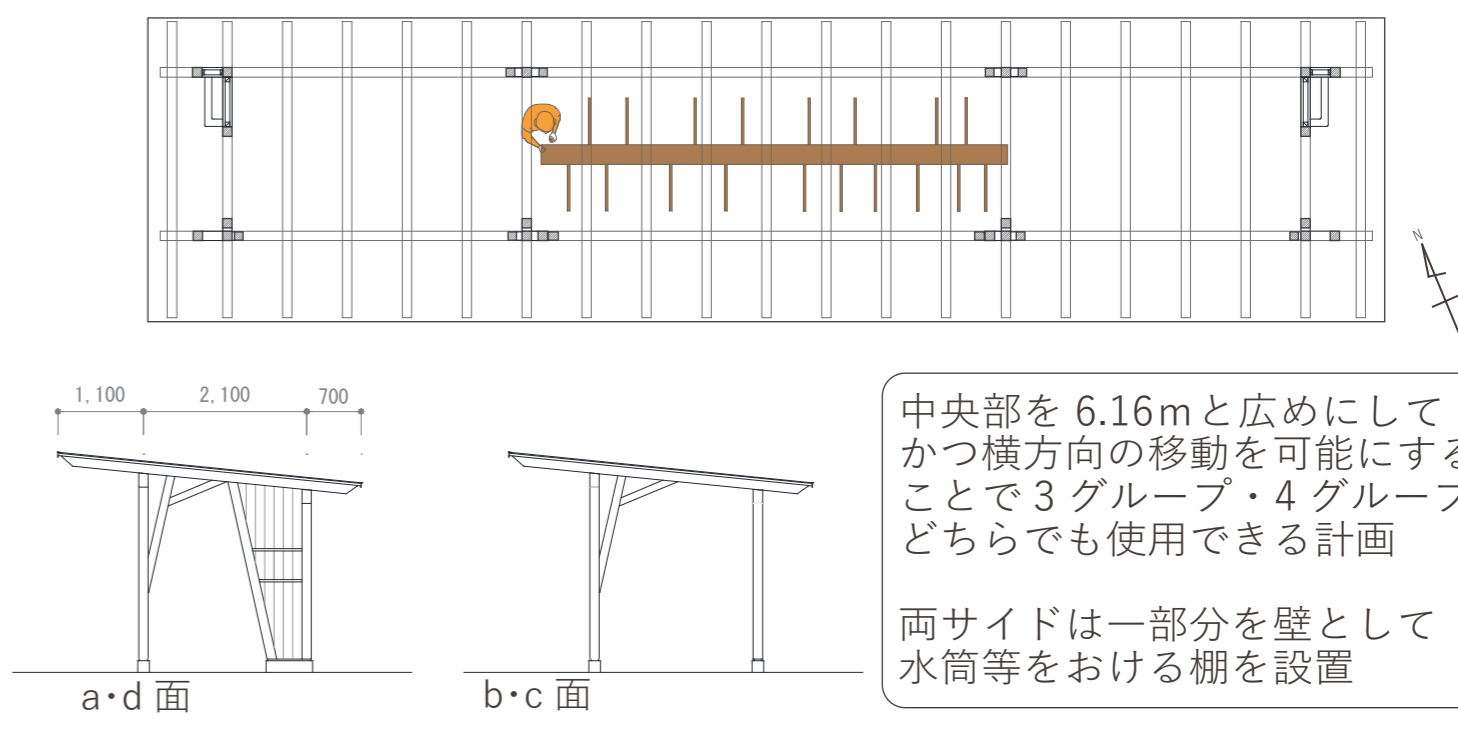
輪切練習



伐倒練習

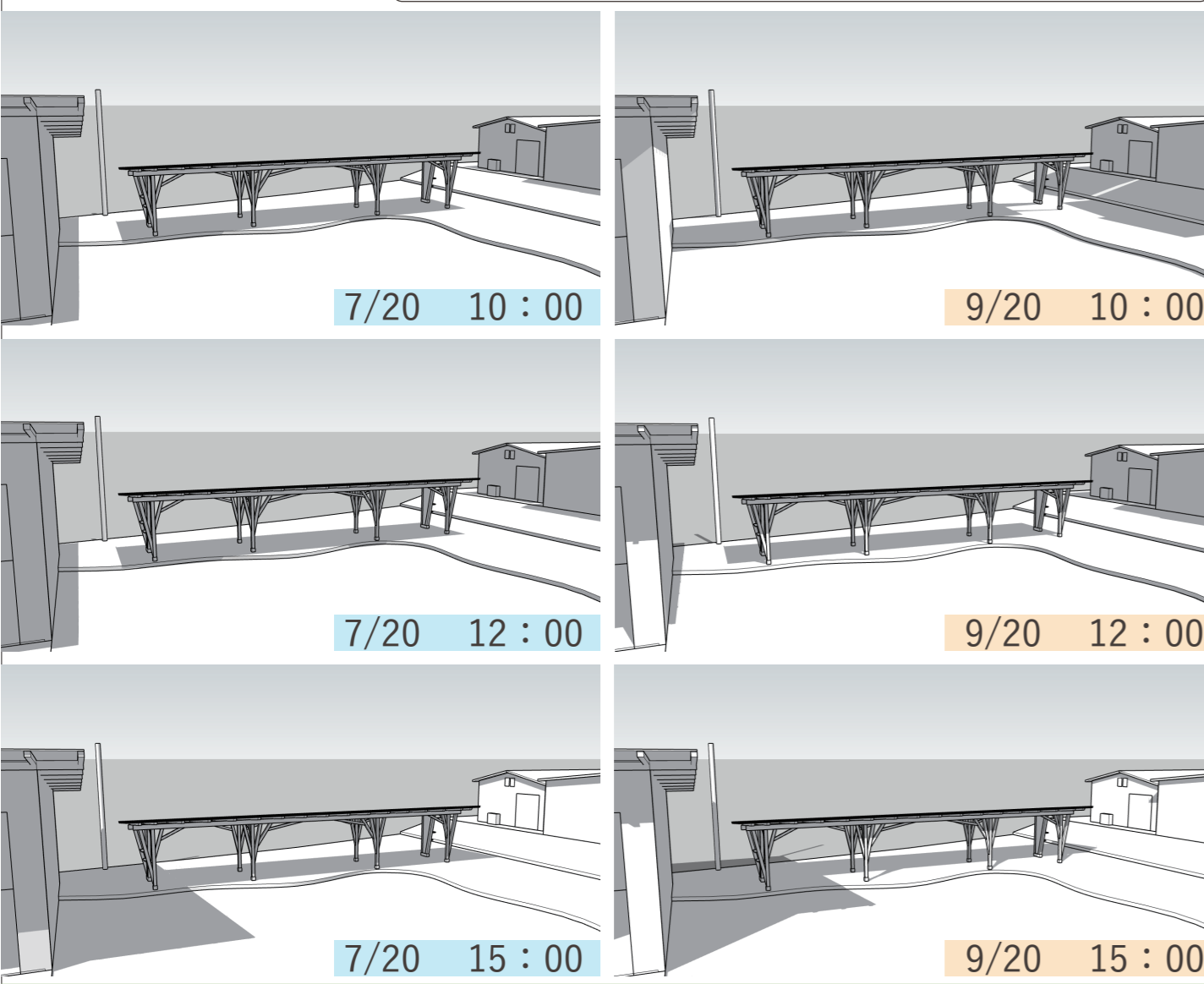


枝払練習

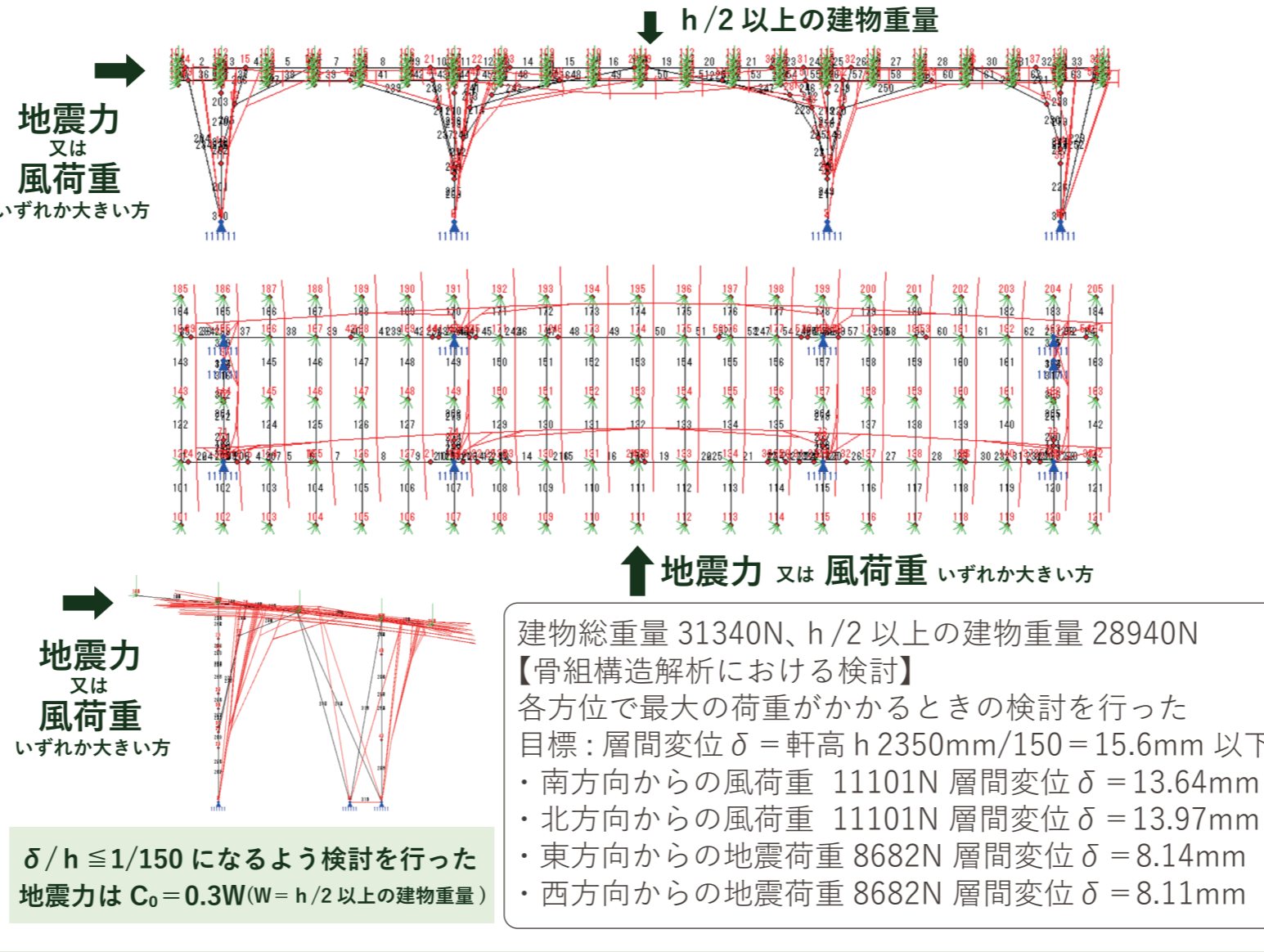


●日陰の検討

太陽高度が低い時期や時間帯は後方にのびやすい為後方に休憩スペースがくる計画とした



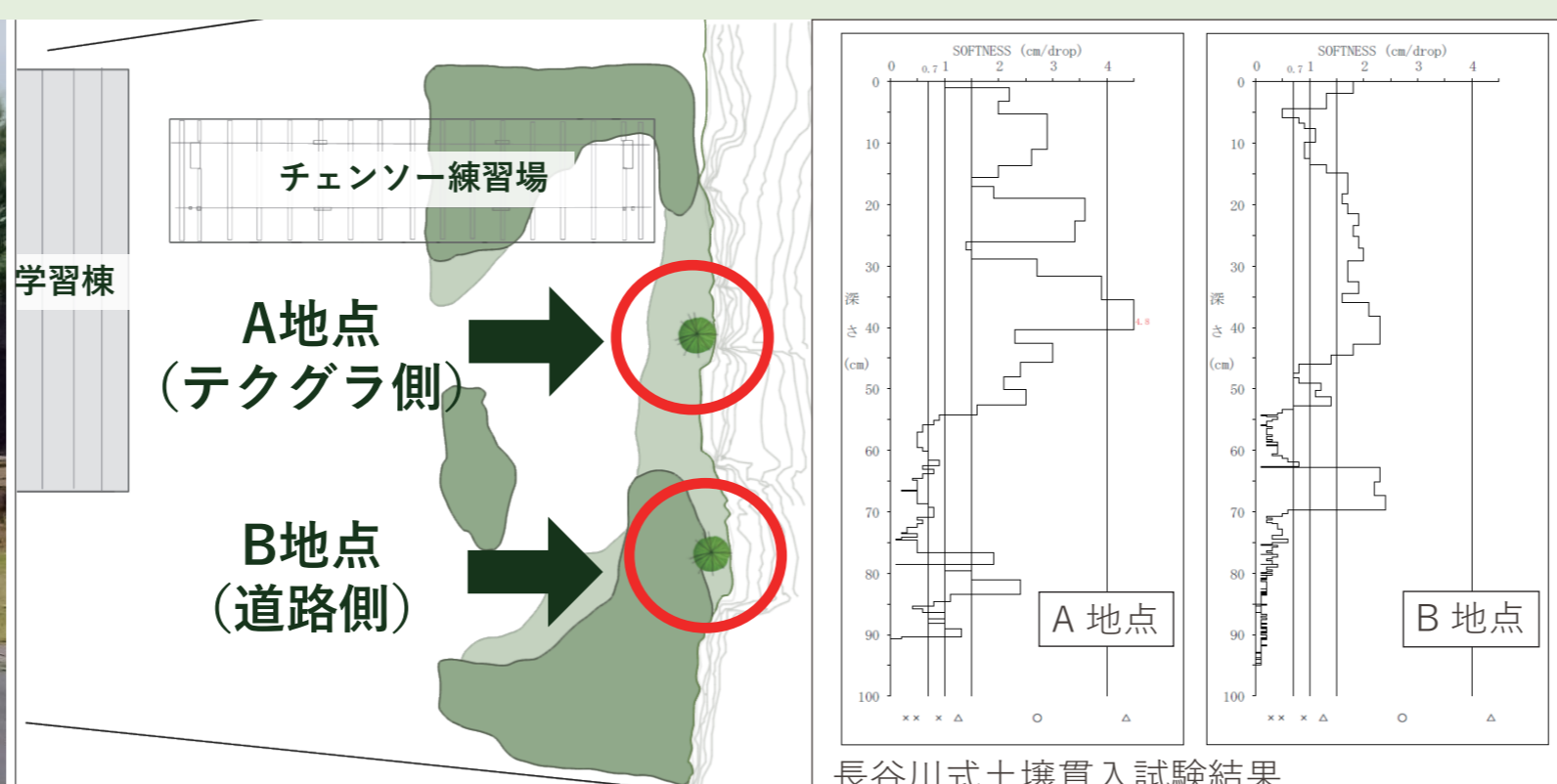
●構造一樹状トラスの検討一



●駐車場と資材置場の計画



II. 植樹

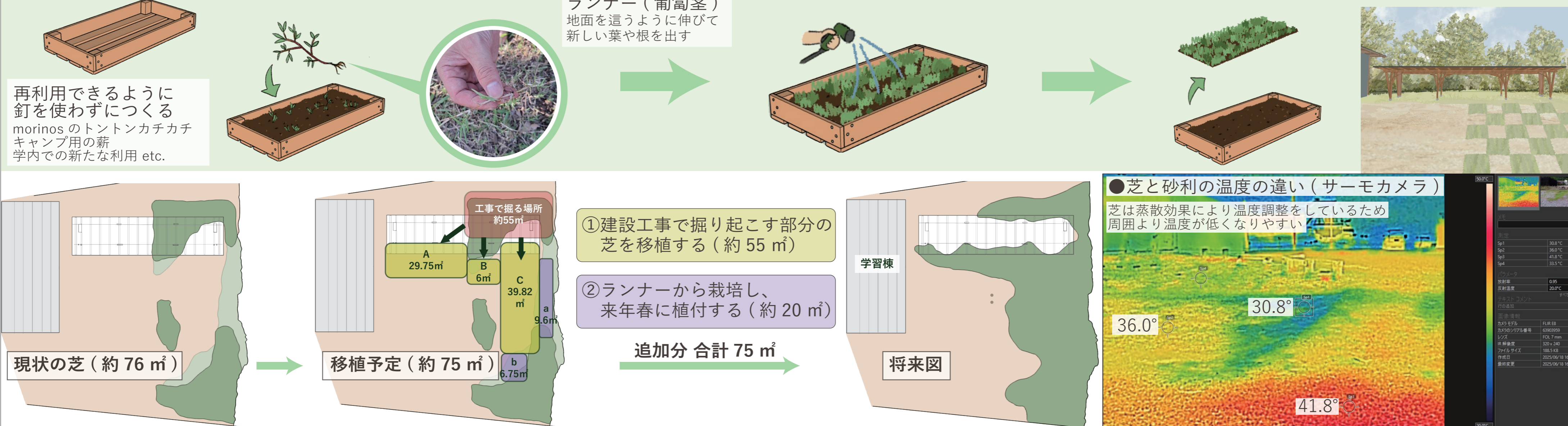


1. 現地にて建物位置と駐車スペースと植栽の検討
 ・窪み部分に植栽することで駐車スペースを狭めることなく植栽ができそう
 ・建物と植栽と芝があることによって、心地の良い空間がつけられそう
 ・斜面側の低い位置の植栽が鬱蒼とした様子を感じる
 → 鬱蒼としている斜面側から開引くことで双方にとって良い状態で敷地全体の魅力をあげていけないかと考える

2. 植栽予定位置の土壌の検討 (長谷川式土壌貫入試験・簡易浸透能試験・土質確認)
 ・長谷川式土壌貫入試験 A地点…50cmまでは○ 50cm以上× (根の生えやすさを調べる) B地点…50cmまでは△ 50cm以上×
 ・浸透能試験 (水の浸透しやすさを調べる) A地点…良い(5回目で26秒) B地点…やや悪い(5回目で87秒)
 ・土質確認 転圧部分を掘っていない状態のとき双方とても悪い(120秒超え) この敷地は尾根を削って平地をつくって転圧したこと 土質は粘土質
 → 今後樹種に合わせて移植方法と掘る深さ・掘った部分に入れる土壌の検討を行う

3. 樹木同定と移植樹種の検討
 斜面側の木々や学内の樹木同定を行った
 → 現状の候補としてリョウブを検討している
 ・樹形が建物のすっきりとしたイメージに一致する
 ・現地に生えている樹形が素敵
 ・落葉樹・陽樹である為、背後のオカダマノキと一緒に成長が見込めそう
 ・尾根など乾燥地で育ち、耐乾性が高い
 ・根系分布が表層に多い(最大の深さで約80cm) 今回50cm以上は結構地盤が固い為、根が深すぎない樹種で検討

III. 芝



IV. 林業～製材～建築

